

しみん基金・KOBENEWS

阪神淡路大震災を語り継ぐ

震災に強い、助け合いの社会を築げよう！

今年も1月15日(日)に「こうべあいウォーク2023」が実施されました。1999年から毎年、阪神淡路大震災の被害の大きかった長田周辺を歩き、神戸まちづくり研究所の会員を中心に案内役となつて、途中では震災当時を知る語り部の方々より、災害当時の様子や復興の過程でのご苦労などのお話をお聞きするウォークイベントです。また参加費(10千円)は、しみん基金・KOBENEを通じて市民活動団体へ毎回助成されています。



コロナ禍で2021年はオンライン、2023年の今回は、2022年に引き続きハイブリッドで開催されました。

近畿ろうきんは、この間、協力団体として「あいウォーク」を応援してまいりました。震災28年が経過するなか、阪神淡路大震災を語り継ぎ、その教訓やまちづくりのあり方、社会における助け合いを考えるこのようなイベントはとても大切であり、震災に強いまちづくりを築げていくことは重要です。震災を知らない世代にもつなげていくため、今後も多くの皆さまの参加を呼びかけます。

東中 健悟

近畿労働金庫地域共生推進室室長

しみん基金・KOBENEをご支援いただいている皆様へ感謝を込めて



認定NPO法人しみん基金・KOBENE

発行日2023年03月

〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通4丁目1-23-605

[TEL] 078-230-9774 [FAX] 078-230-9786 [MAIL] kikin@stylebuilt.co.jp [HP] stylebuilt.co.jp/kikin

こっぺあいウォーク 2023

前日までの雨がやんだ、比較的暖かい日曜、JR鷹取駅近くの大国公園には久しぶりにコロナ前に近い135名程度(スタッフ含む)の参加者がリアルに集まりました。オンラインをご視聴いただいた方も20名弱おられ、クレジット寄付をくださった方もおられました。若松鷹取公園での、元自治会長・消防団員だった地域の方のお話からはじまり、昭和レトロな雰囲気を残す丸五市場、火災被害が最も大きかった大正筋商店街、駒ヶ林地区などを専門家や地元の方のお話を聞きながら歩き、ゴールの二葉小学校(ふたば学舎)ではコープこうべのご協力でお土産や災害に備えるための冊子をお渡ししました。またふたばのスタッフのかたにつくっていただいたぜんざいもお配りしました。ご協力いただいたかた、ご寄付いただいたみなさまに厚くお礼申し上げます。

- 【主催】 こうべあいウォーク2023実行委員会、
NPO法人神戸まちづくり研究所、
認定NPO法人まち・コミュニケーション、
ふたば学舎、認定NPO法人しみん基金・KOBE
- 【協力】 近畿労働金庫、生活協同組合コープこうべ
- 【収入】 募金 315,817
協力金 30,000
- 【支出】 印刷費 7,000
イベント保険 4,000
調理材料費 5,244
振込手数料その他 1,227



収支差額の298,346円をご寄付いただきました。



NPO・地域貢献活動フェアに参加しました!



NPO団体等の活動を一般市民に周知し、活動参加へのきっかけとなることを目的に神戸市が主催し、コミュニティ・サポートセンター神戸が運営して標記フェアが実施されました。当基金は、このフェアに参加し、1月18日(水)にブース出展をしました。会場には一般市民50名ほど参加があり、ブースにお越しいただいたかたに活動説明をし、2名のボランティアトライアルを募集したのですが、すぐ2名のかたから応募をいただくことができました。各々に助成先団体の活動取材いただき、ブログにアップする紹介記事を書いていただきました。ぜひ当基金ホームページのブログ「ふっふいな仲間たち」をご覧ください!





2021年度 助成事業成果報告会



2022年12月6日 / こうべまちづくり会館

2022年12月6日(火)に2021年度助成団体の成果報告会をこうべまちづくり会館にて実施しました。1団体が会場に来られなかったため、機材も揃ってない状態ではありましたが初めて、オンライン・オフライン併用の形で行いました。報告をされる7団体と、2022年度助成対象団体・一般参加・スタッフを含め28名に参加いただきました。

発表団体は10分間、この1年間で、できたこと(成果)、できなかったこと(今後の課題)をご報告いただきました。

今年度もお茶をしながらの交流タイムは省かざるを得ませんでした。途中での休憩時間を15分と長めにとり、名刺交換や情報共有をしていただきました。

あわせて今年度の特別賞である神戸大学学生震災救援隊への贈呈式も実施しました。最後に審査員長代行として高田さんより、発表の中心時々懐かしい単語が出てくる。やはり現在の活動は95年の震災につながるものがあると改めて感じるとコメントされました。



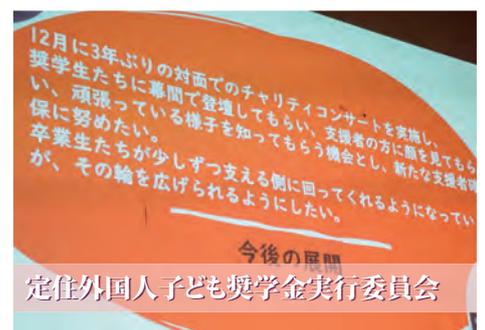
全国ギャンブル依存症家族の会兵庫

ギャンブル依存症は借金、暴力、横領、虐待、鬱など問題が表面化している部分が多岐にわたっているため、それら相談窓口が多岐にわたっているため、それら相談窓口が正しい知識、対処法を知る必要がある。



(特活)ガジュマルの船

摂食障害当事者が福祉制度にとらわれず、当事者同士がフラットな関係性で、各々の得意分野を活かしつつ、好きなことを仕事にする。



定住外国人子ども奨学金実行委員会

日本人の子どもに比べ低い、日本語を母語としない子どもの高校進学率をあげ、健やかに成長していくための体制を整備する。



(一社)デフサポートかもめ

歴史に埋もれた聴覚障害者の言葉(手真似・手話)・市民生活を発掘し、聾・啞史の語り部を育成する。



(一社)Bokk Jambaar

セネガルの人や文化などを伝えることと、共同体意識の強いセネガルの「人との繋がり」が感じられるような場づくりをする。



被災地に学ぶ会

コロナ禍により各大学生ボランティアグループ内で培われてきた活動のノウハウが失われつつあるため、複数のボランティア団体のネットワークを形成する。



神戸大学持続的災害支援プロジェクトKonti

宮城県伊具郡丸森町において支援員の方と共に軒ずつお声がけをするなど、活動を分担して現地支援者の負担を軽減する体制の構築を目指す。



神戸大学学生震災救援隊

学生として、災害にも対処できるような助け合いの基盤を持った街づくりに貢献する。また、災害支援やまちづくりに関わる様々な活動を行う学生が共存することで、学生自身の視野が広がる。

28年目のひとり言

～寄付先を見極める～

2月6日にトルコ南東部からシリア国境部にかけてマグニチュード7以上の大地震が2回発生、既に4万5千人を超える死者が出ている模様だ。世界各国から救助・支援の手が差し伸べられ、日本からもCODEEをはじめ多くの支援団体が現地に入り、支援活動が始まっているが、災害の規模が大きく、支援が行き来届くまでには、まだまだ時間がかかると思われる。トルコと同じく大きな被害が出ているシリアは内戦が続いている状態で政府側、反政府側、クルド人支配地域に分かれており、政府は支援路を1ヶ所しか認めておらず、複数の支援路を求める国連の要請を拒否している。つまり、反政府側及びクルド人支配地域への支援を絶つ狙いが見え隠れしている。トルコもエルドワン政権の独裁政治色が濃く、行政による腐敗が横行、災害への義援金等が被災地や被災者に正しく使用されるのか甚だ疑問が残る。日本と同じく地震災害の多い地域にもかかわらず、建築基準を満たさない建物もお金を払えば合格となるなど、腐敗政治の一端が垣間見える。もし、これから今回の災害への寄付(義援金)をお考えの方がおられるようなら、寄付先では無く、その寄付が何処に渡り、どの様に使われるかをしっかり見極めてから実行して頂ければ幸いだ。被災地と被災者に、支援の手が遍く行き渡ることを願って止まない。

しみん基金・こうべ 専務理事

瀬戸口 仁三郎

※当基金へのご寄付と賛助会費は税制優遇の対象です

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる
賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3千円 / 団体会員 年間 1万円

お申し込みは電話・ファクス・メールなどで、ご連絡いただくか、HPをご参照ください。

郵便振替 00990 - 5 - 157334
口座名義 「しみん基金・こうべ」

三井住友銀行三宮支店 普通 8840183
近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854
みなと銀行本店営業部 普通 1969895
口座名義 「特定非営利活動法人しみん基金・こうべ」

会員数とご寄付のご報告(2023年2月末)

正会員 個人27名 3団体
賛助会員 個人44名 10団体

寄付・募金合計金額 61万3百65円

寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)

飛田雄一、中島秀男、津久井進、沓澤正明、室崎益輝、二木一夫、白水士郎、近藤マヤ子、(株)フルハウス技研、(有)神戸国際マーケティング、ヤフービジネスサービス、(有)ボック、今津建設(株)、あいウオーク2023実行委員会、オレンジスリフティ募金箱

(2022年12月～2023年2月)
※皆様方からの貴重なご厚志に深謝申し上げます。

※ご寄付、会費納入は、クレジット決済もご利用頂けますので、ご利用ください。

当基金ホームページトップページの「クレジットサポーター」からアクセスできます！

編集後記

28回目の1・17が過ぎました。今年もあいウオークへのご寄付ありがとうございました。ウクライナやトルコなど胸が塞がる映像を見ることが多いこの頃です。全ての人に暖かな春が来るように願って自分にできることをするしかないですが…(と)